

評議員選挙に際してのお願い

将来問題検討委員会
男女共同参画推進委員会

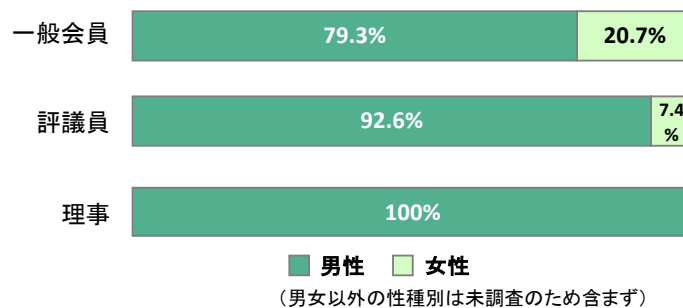
日本植物病理学会の活動に際し、いつもご協力いただきありがとうございます。
当学会では、植物病理学分野の持続的な発展のため、年齢やジェンダーの違いによる不当な差別をなくし、植物病理学分野の多様な人材が活躍できる環境づくりへの取組みを進めています。

現在、学会活動の運営方針を審議する評議員は、女性の割合が下図の通り評議員全体の約7%にとどまっており非常に低い状況です。さらに、評議員選挙の得票数および総会を経て選任され、学会の業務執行の決定に関わる理事の女性割合は0%となっています。評議員選挙における被選挙者全体の女性比率が14%であることをふまえても、評議員および理事におけるジェンダー比の大幅な是正が必要な状況となっています。

ジェンダー比の是正を含めた多様性の確保は、学会内での機会均等・人材登用の推進や、新しい視点・アイデアの導入、ひいてはさらなる学会の発展に直結すると考えます。今年10月に令和6～7年度評議員選挙が実施される予定ですが、当学会を持続的に発展させていくためにも、次期の評議員選挙では評議員のジェンダー比の是正や多様性への配慮が必要であることを考慮して投票を行なっていただくようお願い申し上げます。

評議員選挙は、全会員が学会運営に意見を投じる貴重な機会となっています。選挙を通じてより多く会員の皆様の多様な声を上げていただくために、積極的に選挙にご参加ください。我が国の植物病理学分野を支える当学会をさらに魅力ある団体にするためのお力添えをお願い申し上げます。

日本植物病理学会における一般会員・評議員・理事のジェンダー比(%)
(2022年12月現在)



“多様性の包括・受容”
ダイバーシティインクルージョンを進めましょう！
学会の活性化、我々の学問分野の発展に繋がります